

# 日蓮聖人門連だより

発行  
日蓮聖人門下連合会

〒146-8544  
東京都大田区池上1-32-15  
電話 (03) 3751-7181  
https://nichiren-monka.org

令和7年10月13日  
第72号

## 顕本法華宗管長就任挨拶

顕本法華宗管長  
総本山妙満寺貫首 奥村日拝



このたび、第八十定期宗会に於て、顕本法華宗管長・総本山妙満寺第三〇八世に就任した奥村日拝でございます。

宗内には若くして門連に関わり知己の多い同信の諸師が東に西におられるなか、日拝は専ら宗内の役職の従事し、いわば初心者ですので、恥ずかしながら門連についての知識も甚だ怪しいものです。何卒よろしくお願い申し上げます。

就任以来5ヶ月目にはいったところですが、比叡山横川・定光院での京門連主催「立教開宗会」、日蓮本宗要法寺様での岩崎日求猥下晋山式、京都十六本山貫首（貫主）の主催会、東京での「法華宗連絡協議会」、そして7月2日は「祖廟参詣と身延理事会」開催の通知による顧問出席と、まずは慣例に従って慌ただしく公務に従事し、とりわけ祖廟には「いづくにて死候とも、はか（墓）をばみのぶさわ（澤）にせさせ候べく候」（波木井殿御報）とのご聖訓がありま

「門連各教派は何れも法華経と大聖人という同じ基盤にあり乍らも、更に詳細な教義伝統宗風を相互に理解を深める努力もせず形式上の連携をしても、それはいわゆる野合に等しい」と申されています。同時に法華教団の発信力の弱さなどを指摘され、現下の世情を鑑みるに正法弘通・四海帰妙の道なお遠いとの認識から、各教派の先師は共に知見を出し合い、これまでの細かった絆をさらに太くしましよとの共通認識に立って、編み出されたのが「日蓮聖人門下連合会」の組織であると認識しております。

門連の発足は、「法華経の肝心、諸佛の眼目たる妙法蓮華経の五字、末法の始に一閻浮提にひろまらせ給べき瑞相に日蓮さきがけしたり。わたうども（和黨共）二陣三陣つづきて」（種々御振舞鈔）と進軍鼓舞された日蓮大聖人の命を深く承ったにすぎません。

門連発足わずか60数年、あと100年200年の連携・協力を保つ智慧が望まれています。以上、日拝の挨拶とさせていただきます。

日蓮聖人第750遠忌をお迎えするまで、いよいよ残すところ6年となりまして。この大きな節目を迎えるにあたり、日蓮聖人門下の一人として、また門下連合会の理事長を拝命しておりますことに、あらためて法悦の念を覚えるとともに、その責務の重さに身の引き締まる思いを感じております。

振り返りますと、第700遠忌の折には各派教団で数々の記念行事や事業が盛大に展開されましたが、門下連合会におきましても、「日蓮聖人展」「日蓮聖人劇」「日蓮聖人門下青年の船」「オラトリオ日蓮聖人」の制作・上演という4事業を実施して、日蓮門下が異体同心に聖人のご生涯を顕彰し、その願いを広く世に示すことができました。これらの一大事業を成し遂げられた各聖各位の並々ならぬ熱意とご尽力に、ここにあらためて深甚なる敬意を表する次第であります。それから50年近くが経過した今、私たちもまた、来る第750遠忌には、その志を受け継ぎ、後世へと伝えていかねばなりません。

仏法を究めし一人の僧侶が掲げた「立正安国」という大願は、お題目の妙音を通じて時代を越え、多くの人々の信と行によって脈々と受け継がれて今日に至っております。たとえ一代のうちにもその願いが果たされることはなくとも、後世において必ず成就されると信じ、そこに無上の法悦を見出された日蓮聖人は、まさしく身を尽くして、獅子吼の如くお題目をお唱えになられたのであります。

そのような中で、あらためて昨今の世界情勢に目を向けますと、戦争や自然災害、経済不安、さらには価値観の多様化など、現代社会は様々な課題を抱え、深い混沌の中にあります。畢竟、私たち宗教者に課せられる役割はますます重くなっております。

聖人在世の鎌倉時代もまた、戦乱や天災、疫病に見舞われ、人びとは深い苦悩と不安の中にありました。日蓮聖人は、いまこそこの混沌から衆生を救済する時であり、我こそが妙法弘通の行者であると感得されました。当時と世相を同じくする現代において、私たちは「いま聖人が居られたらどのように振る舞われるだろうか」と常に自らに問いかけ、その問いを原動力として、お題目・法華経を広く社会に行き渡らせるべく、精進を重ねることが、末弟たる私たちの責務であろうと存じます。

願わくは、このたびの日蓮聖人第750遠忌を契機として、門下一同の結束がより強固となり、立正安国の実現に向かう新たな一歩となることを心より願います。ご挨拶いたします。

## 日蓮聖人第750遠忌に向かつて

日蓮聖人門下連合会理事長 田中恵紳



会は様々な課題を抱え、深い混沌の中にあります。畢竟、私たち宗教者に課せられる役割はますます重くなっております。

聖人在世の鎌倉時代もまた、戦乱や天災、疫病に見舞われ、人びとは深い苦悩と不安の中にありました。日蓮聖人は、いまこそこの混沌から衆生を救済する時であり、我こそが妙法弘通の行者であると感得されました。当時と世相を同じくする現代において、私たちは「いま聖人が居られたらどのように振る舞われるだろうか」と常に自らに問いかけ、その問いを原動力として、お題目・法華経を広く社会に行き渡らせるべく、精進を重ねることが、末弟たる私たちの責務であろうと存じます。

願わくは、このたびの日蓮聖人第750遠忌を契機として、門下一同の結束がより強固となり、立正安国の実現に向かう新たな一歩となることを心より願います。ご挨拶いたします。

## 從地ゆじゅつ

◆日本漢字能力検定協会が1995年に始めた、その年の世相を表す漢字の発表する「今年の漢字」が師走の風物詩となっている。全国から募集し昨年(2024)は、22万1900通あまりの中から「金」という字が選ばれ、京都清水寺において森清範貫首が縦約1.5メートル・横約1.3メートルの和紙に揮毫した。パリオリピック開催や世界文化遺産に登録された佐渡島の金山・政治の裏金問題や闇バイトなど、令和6年は「金」を連想する出来事が多かったからであろう。一方、兵庫県姫路市に天台宗の古刹・書写山圓教寺というお寺がある。西の比叡山とも呼ばれる境内には国や県指定の文化財も多く、京都清水寺に似た摩尼殿や重要文化財の大講堂・食堂などがあり、映画「ラスト・サムライ」のロケ地ともなった有名なお寺である。その圓教寺には、元旦0時から新年への希望をこめて、大樹玄承山主自ら漢字一字を選び揮毫する「新春・夢の書」というのがある。◆2008年より始まり、本年(2025)は「観」という字が選ばれた。注意深く観察し物事の本質を理解する、仏教においては本質を見透す智慧のはたらきを意味する一文字である。「見る」は外側をとらえる行為で、「観る」は内側から感じ洞察する行為で、心と深く関わる言葉に使われる。何を観るかの角度から観るかによって、私たちの感じ方・生き方も変わっていく。観る力を養うことは自分を大切にするにもつながっていく。ある新聞に、コトワを上下に並べて、コの中から口にくむて大きくナを書く「君」という字になる。君はどう生きるのか?とコロナは私たちに問いかけた。そして大切なことを教えてくれた。目にした。新元号にこめられた、清らかな「令和」であること。意味の「令和」であること。ならば悩みや争いの無い世の中。仲良く静かに暮らしたい。新型コロナウイルスによって様々な事が大きく変わり、今日という日をどんな「観」で生きていくべきか?。今年も終戦から80年の年、人は何の為に生きていくのかを知ること。それが人生の一大事であり、今まさにこの時が一生のうちの尊い時間であるならばこそ余計に、無常の人生「今を生きる」という事がいかに大切かと心に深くかみしめたい。(安)

# 日蓮聖人遠忌事業の歴史①

日蓮聖人第750遠忌を目前に控え、各派各教団が行ってきた遠忌事業を掲載する。

弘安五年	1822	● 日蓮大聖人ご入滅 葬送の儀
弘安七年	1824	● 諸弟子・檀那、身延山にて第3回忌法要を奉修
正応元年	1288	● 門弟、身延山にて第7回忌法要を奉修 ● 日持上人、日浄上人「生身の御尊像」を造立
永仁二年	1294	● 諸弟子、各地で日蓮聖人第13回忌を奉修
嘉元二年	1304	● 日像上人 日蓮聖人第23回忌を奉修
元弘元年	1331	● 日像上人 日蓮聖人像を彫刻
永享三年	1431	● 日隆上人 日蓮聖人第150遠忌法要を奉修
天正九年	1581	● 第300遠忌報恩法要を奉修
天和元年	1681	● 第400遠忌、「日蓮聖人御傳記」十巻を刊行
享保十六年	1731	● 日顕上人「高祖和讃一篇」を著す ● 第450遠忌報恩法要を奉修
天明元年	1781	● 第500遠忌報恩法要を奉修
天保二年	1831	● 第550遠忌記念として竹之下常唱院を創立
安政四年	1857	● 長松清風 日蓮聖人が本門佛立講を開講
明治十四年	1881	● 身延山久遠寺において日蓮上人第600遠忌第一期・第二期法会を奉修 ● 蓮華会単独主催の公開演説会を開催し宗義を宣揚。演題は「龍口彼処にあり」 ● 第600遠忌報恩法要を奉修 ● 600回御遠諱を本門佛立講親会場(本部親会場・現佛立教育専門学校)と旧宥清寺に於いて奉修し、1万5千人が参詣



勅額拝戴式にて祝辞を述べる田中智学師(国柱会 提供)



一之江大講堂落成式並びに聖祖650遠忌大法要(国柱会 提供)

- 日蓮宗
- 法華宗(本門流)
- 顕本法華宗
- 法華宗(陣門流)
- 法華宗(真門流)
- 本門佛立宗
- 本門法華宗
- 国柱会
- 日蓮聖人門下連合会

昭和二年	1927	● 第650遠忌記念事業として「日蓮主義」を刊行
昭和五年	1930	● 日蓮聖人第650遠忌事務局を宗務院内に設置
昭和六年	1931	● 日比谷公会堂において御遠忌並誼號宣下10周年記念大会を開催 ● 身延山久遠寺、池上本門寺それぞれにおいて宗祖650遠忌報恩法要を奉修 ● 本能寺にて桃井日晃院下の主唱により、京都16本山主伴懇談会を結び、永祿盟約が実現 ● 本能寺旧本堂の移転、客殿造営落成、梵鐘の寄贈を受け撞初式を挙行 ● 光長寺、鷲山寺、本能寺、本興寺それぞれにて遠忌法要を奉修 ● 650遠忌を記念して、田中智学が妙法蓮華經如来寿量品の解説書「法華經魂魄」を出版 ● 650遠忌の報恩事業として、同年4月から6月にかけて、身延団参詣者に対する「法華經魂魄」宣伝活動を行う ● 一之江大講堂にて聖祖650遠忌大法要を厳修。皇居前広場にて「君が代」舞楽百人奏、經典劇「竜女成仏」上演、宗曲「船守」百人奏を挙げる ● 宗祖日蓮大聖人第650遠忌大法要を奉修 ● 佛立第7世講有日淳上人が「十方靈会」を立ちあげ全国を行脚して勸募を呼びかけ、現在の本山宥清寺の大本堂を建立。650回御遠諱を奉修し、2万人が参詣

## 「立正」勅額拝戴

昭和六年	2/16	● 身延山久遠寺岡田日帰師の委嘱にもとづき、田中智学が「立正」勅額拝戴の奏請文起草に取りかかる
	3/16	● 田中智学は「立正」勅額拝戴奏請文の草稿を、日蓮宗管長酒井日慎師と身延山久遠寺岡田日帰師に示し承認を得、大祖廟にて久遠寺重職とともに奏請文謹読の儀を奉修
	4/27	● 昭和天皇より「立正」の勅額を拝戴
	10/1	● 身延山久遠寺、池上本門寺それぞれにおいて勅額拝戴第一次・第二次式典を奉修
	10/11	● 池上本門寺での勅額拝戴式に、国柱会雅頌部と少年部31名が出陣し、勅額御前で「君が代」舞楽を演じる
	10/2	● 勅額が身延駅に到着。国柱会 田中智学以下800余名が奉迎行列に加わり大祖廟まで参進、奉告式が挙行される。身延山久遠寺棲神閣において第二次拝戴式にて、田中智学が祝辞を朗読する。午後3時より仏殿にて国柱会主催の「奉祝伝道」開催。
	10/11	● 田中智学の講話の他、宗曲・国性舞踊の演奏を行う ● 勅額感応大会と聖祖鶴林会法要を奉修。あわせて満州事変の戦歿将兵追弔法要を奉修

### 日蓮宗宗務院

管 長 菅野日彰 財務部長 笠井照永  
 宗務総長 田中恵紳 宗務総長室長 秋山文裕  
 伝道局長 柳下俊明 畏宗教研究所長 赤堀正明  
 総務局長 光岡潮慶 参 与 渡邊義生  
 伝道部長 長谷川雄一 参 与 田中智海  
 教務部長 川久保光隆 日蓮宗新聞社長 田邊木蓮  
 総務部長 畑 栄明

〒146-8544 東京都大田区池上一-三二-一五  
 電話 〇三(三三三)七一一一  
 FAX 〇三(三三三)七一一八  
<https://www.nichiren.or.jp>

### 法華宗(本門流)宗務院

管 長 久保木日將  
 宗務総長 金井孝顕  
 教学部長 松井正孝  
 布教部長 三吉廣明  
 総務部長 平田義生  
 財務部長 久野晃秀  
 企画部長 吉崎長生

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二一九-一  
 電話 〇三(五六一)四三〇五五  
 FAX 〇三(五六一)四三〇五六  
<http://www.hokkeshu.or.jp>

### 顕本法華宗宗務院

管 長 奥村日拝  
 宗務総長 秋葉敬真  
 宗務次長 津村乗信  
 庶務部長 秋山事遷  
 布教部長 川崎英真  
 社会部長 中村文治  
 財務部長 島田誠岳  
 教務部長 藤崎裕学

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一  
 電話 〇七五(七九一)七二七一  
 FAX 〇七五(七九一)七二六七

### 法華宗(陣門流)宗務院

管 長 鈴木日慧  
 宗務総長 西山英成  
 総務部長 牧野秀宜  
 企画部長 金原孝達  
 財務部長 西山聡高  
 教学部長 布施義高  
 教化部長 松吉慶憲  
 宗務参事 田中隆寛  
 宗務参事 田内孝照  
 宗務参事 竹内敬雅

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨五-三五-一六  
 電話 〇三(三三九)七二九〇  
 FAX 〇三(三三九)七二九一

### 本門佛立宗宗務本庁

宗務総長 亀井日魁  
 宗務副総長 植田日事  
 宗務副総長 豊田日榮  
 教育局長 高須日因  
 弘通局長 岡居日実  
 総務局長 藤本日唱  
 広報局長 指田日行  
 財務局長 姫野日正  
 特別局長 植田日事

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東堅町一〇番地  
 電話 〇七五(四六一)一六六代  
 FAX 〇七五(四六一)五九九九

### 日蓮本宗宗務院

管 長 岩崎日求  
 宗務総長 今村仁要  
 総務部長 工藤海淳  
 財務部長 二瀬智秀  
 教務部長 佐藤勸行

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八  
 電話 〇七五(七七二)三三九〇  
 FAX 〇七五(七七二)五九一四  
<http://honzanyoboji.or.jp>

### 法華宗(真門流)宗務庁

管 長 上田日献  
 宗務総長 堀内浩善  
 総務部長 堀内雅博  
 教学部長 峰尾泉榮  
 教化部長 舟積法宏  
 社会部長 木村良勢  
 財務部長 水野智悠

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上元紋屋町三三〇  
 電話 〇七五(四四二)五七六二  
 FAX 〇七五(四四二)五六六六

### 本門法華宗宗務院

管 長 別所日山  
 宗務総長 香川日憲  
 総務部長 増田日倫  
 宗務部長 吉村日彦  
 財務部長 高邊晶啓  
 教務部長 山下揮正  
 庶務部長 松本真隆

〒602-8418 京都市上京区寺之内大宮東入大本山妙蓮寺内  
 電話 〇七五(四五二)三五二七  
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

### 宗教法人 国柱会

賽 主 田中壮谷  
 理事長 松浦正  
 門連理事 森山真治  
 門連理事 藤本坦孝  
 編集委員 的場春奈

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一一九-一八  
 電話 〇三(三五六)七二二代  
 FAX 〇三(三五六)九九八〇  
<http://www.kokuchukai.or.jp>

### 日本山妙法寺大僧伽

首 座 木津博充  
 責任役員 川岸行孝  
 同 武田隆雄  
 同 長濱行豊  
 同 行德行得

日本山妙法寺大僧伽事務局  
 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八一七  
 電話 〇三(三四六)九三六三  
 FAX 〇三(三四六)九三六七

### 京都日蓮聖人門下連合会

会 長 瀬川日照  
 副会長 岩崎日求  
 理事長 小田和幸  
 副理事長 今村仁要

京門連事務局  
 〒606-8376 京都市左京区二条通川端東入頂妙寺布教会館内  
 電話 〇七五(七六二)二四一一  
 FAX 〇七五(七五二)九三三八

### 大阪日蓮聖人門下懇話会

理事長 藤本経尚  
 副理事長 森田進  
 理事 門谷光瑞  
 理事 吉村日彦  
 理事 木下真良  
 理事 松本知隆

〒580-0044 大阪府松原市田井城五一三-一二九  
 電話 〇七二(三三三)四四一四  
 FAX 〇七二(三三三)六三三九

「共に生き 共に栄える  
共栄運動推進中」

日蓮宗総本山 身延山久遠寺

法主 持田日勇  
総務 浜島典彦

〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延三五六七  
電話 〇五五六(六二)一〇一一  
FAX 〇五五六(六二)一〇九四

日蓮宗大本山 池上本門寺

貫首 菅野日彰  
執事長 木内隆志  
役員一同

〒146-8576 東京都大田区池上一一一一  
電話 〇三(三七五二)一三三三  
FAX 〇三(三七五二)三三五〇

法華宗(本門流)大本山 本興寺

貫首 小西日遼  
執事長 本津弘龍  
役員一同

〒606-0862 兵庫県尼崎市開明町三一三  
電話 〇六(六四一一)三二二七  
FAX 〇六(六四一一)二四三八

顕本法華宗総本山 妙満寺

貫首 奥村日孝  
参務 土持栄真  
参事 秋葉敬真  
参事 三坂岳應  
参事 橘無我  
参事 湯原正純  
参事 足立幸謙  
参事 澤地真也  
執事 澤地真也  
執事 澤地真也  
執事 澤地真也

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一  
電話 〇七五(七九)七七一  
FAX 〇七五(七九)七二六七

法華宗(陣門流)総本山 本成寺

貫首 鈴木日慧  
寺務所員一同

〒955-0845 新潟県三条市西本成寺一一一一〇  
電話 〇二五六(三三)〇〇〇八  
FAX 〇二五六(三三)〇〇五九

法華宗(真門流)総本山 本隆寺

貫主 上田日猷  
執事長 永岡悠希  
執事 笹木研吾  
執事 矢放啓亮  
参事 本多信正  
参事 本多信正

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇  
電話 〇七五(四四二)五七六二  
FAX 〇七五(四四二)五六六六

本門法華宗大本山 妙蓮寺

貫首 別所日山  
執事長 末本樹哉  
役員一同

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東妙蓮寺前町八七五  
電話 〇七五(四五二)三五二七  
FAX 〇七五(四五二)三五九七

多寶富士山 本山要法寺

貫首 岩崎日求  
執事長 今村仁要  
執事 工藤海淳  
執事 二瀬智秀  
執事 佐藤勸行

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八  
電話 〇七五(七七)三三九〇  
FAX 〇七五(七七)五九一四  
HP honzanyobojor.jp

本門佛立宗本山 宥清寺

住職 木村日覚  
二十七世講有  
執事長 増永清光  
事務局長 栢森良道

〒602-8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ヶ鼻町一〇〇五一  
電話 〇七五(四六三)四六二〇(代)  
FAX 〇七五(四六三)四六五一

京都八本山会

大本山 妙顕寺 貫首 及川日周  
大本山 本因寺 貫首 早川日章  
会本・本山 本法寺 貫首 瀬川日照  
本山 妙覺寺 貫首 宮崎日嚴  
本山 頂妙寺 貫首 田中日淳  
本山 妙傳寺 貫首 近藤日康  
本山 立本寺 貫首 風間日宏  
本山 本満寺 貫首 伊丹日顕

京都 法華門流懇話会

法華宗(真門流) 総本山本隆寺 貫主 上田日猷  
顕本法華宗 総本山妙満寺 貫首 奥村日孝  
法華宗(本門流) 大本山本能寺 貫首 桃井日英  
本門法華宗 大本山妙蓮寺 貫首 別所日山  
法華宗(陣門流) 本山本禪寺 貫主 赤塚日辰  
本門佛立宗 本山宥清寺 講有 木村日覚  
日蓮正宗 本山要法寺 貫首 岩崎日求  
顕本法華宗 本山寂光寺 貫首 大川日仰

日蓮宗大本山 日蓮聖人出家得度の霊場 千光山 清澄寺

別當 齊藤日敬  
執事長 宮崎雅宣

〒299-5505 千葉県鴨川市清澄三二二一一  
電話 〇四(七〇九四)〇五二五  
FAX 〇四(七〇九四)〇五二七

宗祖御降誕霊場 日蓮宗大本山 誕生寺

貫首 矢嶋日弘

〒299-5501 千葉県鴨川市小湊一八三  
電話 〇四(七〇九五)二六二一  
FAX 〇四(七〇九五)二〇五五

日蓮宗霊跡本山比企谷 妙本寺

貫首 鈴木日敬

〒248-0007 神奈川県鎌倉市大町一一一五一  
電話 〇四六七(二二)〇七七七  
FAX 〇四六七(二五)六九六七

日興上人御聖廟 日蓮宗大本山 富山法華本門寺根源

貫首 旭日重  
参与一同 鈴木春雄  
執事長 鈴木春雄  
役員一同

〒418-0112 静岡県富士宮市北山四九六五  
電話 〇五五四(五八)一〇〇四  
FAX 〇五五四(五八)〇三〇三

日蓮宗大本山 中山法華経寺

貫首 新井日湛  
参事 植田観樹  
参事 松本慈恵  
参事 松本観亮  
参事 土田恵敬  
参事 松永慈弘

〒272-0813 千葉県市川市中山二一〇一一  
電話 〇四七(三三四)三四三三  
FAX 〇四七(三三四)一七九六

やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺

山主 山田日潮

〒166-0013 東京都杉並区堀之内三十四八八  
電話 〇三(三三三)六二四一  
FAX 〇三(三三三)五〇〇七

日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗本山東身延 藻原寺

貫首 増田日優  
山務員一同

〒297-0026 千葉県茂原市茂原一一一〇一  
電話 〇四七五(二二)三一五三  
FAX 〇四七五(二二)一一七三

徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 瑞輪寺

貫首 井上日修  
執事長 稲荷泰雅

〒110-0001 東京都台東区谷中四一三二一五  
電話 〇三(三八二)四三三三  
FAX 〇三(三八二)七〇三三



# 門連時報

## 祖廟参詣及び身延理事会開催さる

令和7年7月2日(水)、日蓮宗本山身延山久遠寺で、「日蓮聖人門下連合会祖廟参詣・身延理事会」が開催され、全国日蓮聖人門下連合会の顧問・常任理事・理事・監査・大阪門下懇話会副理事長等、30名が参加した。

午後1時、御廟法務所に集合し、祖廟にて法味言上及び記念撮影。続き久遠寺へ移動し本堂にて法味言上、続いて祖師堂御真骨堂を参拝、午後3時より新書院にて理事会が開催された。田中恵神理事長が座長となり議題に沿って議事を進行。

「令和六年度事業報告」、「令和六年度決算報告」について事務局より報告。決算報告では監査の蓮池光洋師より監査報告がな

## 京都日蓮聖人門下連合会事業開催

### 立教開宗会

4月28日、滋賀県大津市比叡山横川に佇む定光院において、京都日蓮聖人門下連合会主催・京都日蓮聖人門下本山会後援のもと、本山本寺寺貫首・瀬川日照院下を導師に京都日蓮聖人門下連合会の協力を得て厳かな法要が営まれた。

横川定光院は、日蓮聖人が比叡山で若き日々を修行に捧げられた聖地であり、宗祖ゆかりの聖域として崇敬を集めている。当日は春光に恵まれた穏やかな天候のもと、法要に先立ち日蓮本宗教務部長・柳下真敬師による講話が行われた。講話では、日蓮聖人のご誕生から立教開宗に至るまでの歩みを紐解きつつ、末法の世におけるお題目信仰の



尊さと、その信仰を現代に生きる私たちがいかに継承していくかが力強く語られた。

続いて、京都日蓮宗寺庭婦人

会による法華和讃が奉納され、参列者の心を浄めるかのよう響き渡った。引き続き行われた法要では、各本山の貫首が列席される中、比叡山横川の山々にお題目の音が力強くこだまし、宗祖への報恩と誓願の祈りが一体となり、宗祖の御精神を現代に生かし伝えていく意義をあらためて胸に刻む一会となった。

### 第60回夏季大学開催

令和7年8月30日(土)、京都市中京区ホテル本能寺に於いて、第60回目となる夏季大学が、日蓮聖人門下連合会主催、京都日蓮聖人門下本山会後援のもと開催され、僧俗約70名が参加した。

令和7年度は、第一講に木村中一身延山大学教授による講演『御遺文にみる機知と温情』が、第二講に京都市北区常照寺住職、日蓮勧学院学職奥田正敬師による講演『いのちに合掌〜綱脇龍妙上人と身延深敬園〜』がそれぞれ行われた。

第一講では、『芋一駄御書』や『兵衛志殿御返事』などの日蓮聖人の御遺文を読み解きながら、その文中に込められた日蓮聖人の御言葉の温かみや、人の悩みに心から寄り添うようなお心に触れつつ講演が行われた。

第二講では、『いのちに合掌』をメインテーマとして、綱脇龍妙上人のご生涯を辿りながら、綱脇龍妙上人の法華経に基づく宗教観、ハンセン病と身延深敬園の設立の思想背景や概況、国立ハンセン病療養所の実態について深く講演が行われた。

どちらの講演も参加者が引き込まれるような非常に意義深い講演であり、講演終了後には大きな拍手をもって夏季大学が閉じられた。

## 大阪日蓮聖人門下懇話会活動報告

大阪日蓮聖人門下懇話会では7月9日天王寺区上本町の杯杯天山閣において総会を開催し、藤本経尚理事長の挨拶の後、令和6年度の活動報告並びに本山

由緒寺院巡りバスツアー報告及び年度収支についての報告があり、また令和7年度の活動方針を発表し、それぞれ承認された。また恒例の総会講演では日蓮宗宗林寺住職・有本智成師より「ご本尊について」と題して非常に熱の入った、それでいて分かりやすいお話があり、参加会員はみな真剣に聞き入っていた。その後の懇話会では中華料理のコースに舌鼓をうちながら和やかなひと時を過ごした。

大阪日蓮聖人門下懇話会は、合同お会式・研修会・本山由緒寺院巡りバスツアーを活動の中心としている。

今年度は11月2日、第33回合同お会式を理事長自坊である松原市善宗寺にて開催、法話は藤本静潤師による高座説教「日蓮聖人御一代」の2回目を予定しており、その他に第36回研修会の開催と3月末に第28回本山巡りバスツアーを予定。本山由緒寺院巡りバスツアーでは日蓮宗と法華宗の本山を毎年交互に参拝している。今年度は日蓮宗本山の参拝と予定になっており、鋭意企画中である。

## 戦後80年特別展覧会開催予定

本門佛立宗の京都佛立ミュージアムでは、本年7月より12月25日まで、戦後80年特別展覧会「トランクの中の日本―戦争、平和、そして佛教―」を開催しています。

1945年、若き米軍兵士ジョー・オダネルは、ヒロシマ、ナガサキなど焦土の日本を記録しました。300枚のネガは帰国後、戦争の忌まわしい記憶と一緒にトランクに入れ封印しました。しかし、



「私はあの体験を語り伝えなければならぬ。」43年の時を経てトランクを開けさせたのは、彼の平和への願いからでした。真実の記録「トランクの中の日本」。

同時に、仏教が持つ戦争と平和に関するアイデアを紹介しています。

現在、世界各地での戦争のニュースが連日報道される中、終戦80年の節目に戦争と平和を考えていただければと思います。

また、本年2月から6月まで開催してまいりました「真説坂本龍馬展」の展示図録を紹介いたします。

坂本家十代目・坂本匡弘氏の全面的な協力をいただき、「新国家」と記された龍馬直筆の書簡や、長松日扇との接点となる海援隊出版の「閑愁録」、さらに議会制民主主義の重要性を説いた「藩論」も収録。



坂本龍馬の描いた「真説」を、仏教の視点から迫る1冊です。ミュージアムショップ(店頭 ¥1,000)とYahoo! ショップ(オンライン ¥1,300)で販売しています。

「ここら仏(ほどけ)る 空飛ぶお坊さんの仏教の言葉47」長松清四/著

聞き慣れた言葉が実は仏教用語だった! 本来の意味を知れば人生が豊かになる!

横濱砂浜寺住職がDJを務めるFMヨコハマのラジオ番組「横濱ラヂオ」の人気コーナー「ゴーストワード」が待望の書籍化! お教化や法灯相続にお役立てください。

Amazon 販売ページ QRコード

●定休日: 2025年4月2日(水)

●定価: 1,800円

●発行: 東京ニュース通信社

●発売: 講談社

# 法華三部経大講義

渡邊寶陽 著  
監修 財団法人「法華会」  
編集・発行 (株)日蓮宗新聞社

本刊行は小林一郎・久保田正文両先生の『法華経大講座』の精神を引き継ぎ、日蓮聖人が読まれた立場で解説した法華経全巻と開経・結経の要点を概説しています。初学の読者にも容易に理解出来るよう配慮した、やさしい「法華経理解の入門書」です。

- 【第1巻】202頁 開経から法華経へ 開経『無量義経』
  - 【第2巻】518頁 『妙法蓮華経』 序品第一～ 信解品第四
  - 【第3巻】446頁 薬草喻品第五～ 安樂行品第十四
  - 【第4巻】455頁 從地涌出品第十五～ 普賢菩薩勸発品第二十八
  - 【第5巻】165頁+全文検索用USB) 結経『仏説観普賢菩薩行法経』 文字検索対応PDFデータ (索引に替えて)
- ※引用経文(訓読)校訂協力 佐世保本興寺 松本玄経・岩永泰賢&普賢会・九州教化センター各聖



A5判 ハードカバー・ケース入り ※セット内容イメージ

五巻には全索引に替えて全文PDFを収納したUSBをセット

全5巻セット 20,900円(税込・送料別)



各派・教団・短信

本門法華宗

◆3月11日、第117回本門法華宗宗会をキャンパスプ...

日蓮本宗

◆本山要法寺 嗣法第53祖・日蓮本宗管長岩崎日求...

国柱会

◆令和7年1月1日、賽主以下本部職員・中央会員同志...

京都門下連合会

◆7月2日 全門連身延理事會(身延山久遠寺)...

法華宗(本門流)

◆令和7年2月13・14日 宗祖日蓮大聖人「報恩抄」...

法華宗(真門流)

◆4月7日 法華宗(真門流) 26日、春季学...

頭本法華宗

◆3月5日 6日の2日間 にわたり、京都・総本山妙満寺...

法華宗(陣門流)

◆2月3日、総本山本成寺(新潟県三条市)で「節分大祈願会」...

◆8月24日、本隆寺に於いて、夏季講習会開催。

◆3月1日、月旦国袴。9日、中央連合協議会所属同志による...

◆6月5日に は、池上本門 日蓮宗

◆4月9日 法華宗宗会議員改選。任期は令和11年3月31日まで

◆5月12日、霊跡別院蓮着寺(静岡県伊東市)において、大島日調師の晋山式並びに「伊豆法難会」が厳修された。

◆5月26日、布教研究所員会が開催された。

◆5月30日、会計監査会が宗務院にて開催された。

日蓮聖人門下連合会

- 目的 本会は日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡、協力、団結を強化することを目的とする。

- 事業 本会は前条の目的を達成するため、左の事業を行う。

- 1、祖廟護持の組織強化
- 2、教育事業の提携
- 3、布教の連合強化
- 4、懇談会・研究会・講演会等の開催
- 5、各種出版物の刊行
- 6、海外布教の提携及び交流
- 7、対外的な各種の運動
- 8、その他

- 加盟団体 日蓮宗 法華宗(本門流) 頭本法華宗 法華宗(陣門流) 本門佛立宗 日蓮本宗 法華宗(真門流) 本門法華宗 国柱会 日本山妙法寺 京都門下連合会